

## (1) 2016年度事業実績について

### 1 概要

後援会は、新たに2支部（日出支部、東京支部）が設立され、会員数4,606名、会費収入18,354,000円となり、大分フットボールクラブ（以下大分FC）へ11,012,400円の財政支援を行いました。初めてのJ3での活動となり、大幅な会員数減、財政支援額減が予想される中、1年でJ2復帰するという機運の後押しもあり、減少幅を抑制したものの、当初目標としていた11,400,000円の財政支援に対して未達に終わりました。その中で会員数のおよそ61%にあたる2,821名が支部所属会員であり、厳しいJ3での活動だからこそ、会員数、会費収入を増やした支部もあり、後援会の安定した会員数確保に向けた引き続き大きな力となっています。ただJ3降格による一般会員の伸び悩みや支部によっては、厳しい会員数、会費収入となったところがあることも事実である。

### 2 後援会支部活動について

2016年に地域支部として日出支部、東京支部が発足し、地域支部18支部、職域支部14支部となり、32支部となりました。

### 3 選手会とタイアップした主な実施イベント

1月17日	佐伯支部イベント	三平選手、姫野選手
2月28日	監督・選手激励会	片野坂監督、全選手
4月2日	佐伯支部イベント	高松選手、伊佐選手
4月12日	明治安田生命支部イベント	清本選手、上福元選手
5月21日	大分東支部イベント	佐藤選手、江頭選手
7月6日	津久見支部イベント	黄選手、山之内選手
7月23日	東京支部発足パーティ	榎社長
7月31日	後援会DAY	三平選手、千明選手、伊佐選手、大津選手
8月29日	豊後大野支部イベント	山口貴選手、吉丸選手
10月13日	中津市役所支部イベント	松本昌選手、姫野選手

### 4 その他の主な後援会PR活動、イベント

ダイハツ九州他スポンサー企業イベント、商業施設でのイベント、ファン感謝デー等の多くのイベント、支部主催のPR活動を行ってきました。

### 5 各支部による観戦バスツアー（助成金分以外も含む）

3月13日 佐伯支部

5月 1日 佐伯支部  
5月15日 佐伯支部  
6月12日 佐伯支部  
7月10日 佐伯支部  
7月31日 後援会DAY 新別府病院支部  
7月31日 後援会DAY 津久見支部  
7月31日 後援会DAY 佐伯支部  
10月 2日 佐伯支部  
10月23日 佐伯支部  
11月 6日 佐伯支部  
11月13日 佐伯支部

## 6 後援会入会推進活動

- ・2016年監督・選手激励会開催
- ・スタジアムでの入会促進チラシの配布ならびにブースでの入会事務
- ・ハーフタイム抽選会の拡大（増口会員への新しいアプローチ）
- ・ホームゲームでの「後援会DAY」の開催

### (総括)

既存の後援会各支部の協力に加え、新たな支部も立ち上がり、32支部になったものの、活動がここ数年休止状態となっている支部への働きかけがまだ不十分であった。また、初めてのJ3での活動に対し、会費収入の伸び悩みも懸念される中、昨年同様経費削減に努め、安定した運営を行いながら、多くの方々の1年でのJ2復帰という機運にも助けられ、会員数、会費収入も減少幅を抑制することができた。特に、ホームゲームでの勝ち試合も多く、スタジアムでの新たな取り組みの増口会員への抽選会や後援会だより掲示等施策の効果もあり、スタジアムでの増口会員数は昨年の1.2倍に増加することができた。

今後は、引き続き新たな会員獲得のため、大分FCとの連携を強化し、新支部設立を目指すとともに、既存支部への積極的活動の促進、休止支部へ実情を踏まえ、次年度は踏み込んだ形での対策が不可欠である。また、大分FCが展開するホームタウン活動と連携をとり、大分FC、各自治体、各後援会支部が参加・協力するイベントを実施し、会員増、大分トリニータへの支援増を実現していきたい。大分FCは新年度J3からJ2に復帰したものの、厳しいかじ取りとなる中で、さらに将来のJ1での安定したクラブ経営を後押しするためにも、今まで以上の財政支援金の拡大が必要不可欠である。さらにそのためにも、各支部、各会員と選手やチームとのふれあいを増やししながら、共に支えていることが認識できるような取り組みを増やせるような組織体制になれるよう努めていかなければならない。引き続き、各支部、各会員におかれましては、大分FC支援の輪を広げる活動の積極的な展開をお願いいたします。